

新・災害対策委員会開催

第7回 新・災害対策委員会

2022年3月9日(水) 13:00～14:30 開催形式:会場+Zoom(オンライン)

第7回新・災害対策委員会を開催し、2021年度の活動進捗と2022年度の活動の方向性について議論を行いました。

【2022年度の活動の方向性】

(1) 平時からの備え

日頃から災害時対応について考え、議論してもらうことを目的に、勉強会や意見交換会を開催する。

(2) 防災備蓄品の活用

各会員企業が保有する防災備蓄品の特性に応じて、個別に支援体制の構築を進める。

(外部団体への活動支援物資、フードバンク団体への寄付など)

(3) 会員内連携、地域生団連での支援構築

引き続き、発災現場の情報を速やかに収集・発信し、被災地で活動する外部団体とのマッチングを行う。地域生団連ごとにサプライリストを作成し、各地域で活動する外部団体との連携を検討する。

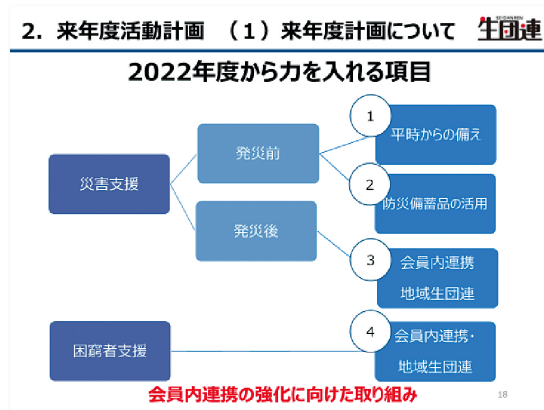
(4) 困窮者支援

困窮者のニーズ把握と並行して、支援に必要な情報収集に関する枠組みや支援体制の構築を検討する。

(埼玉県社会福祉協議会、大阪・北海道生団連の地元外部団体 など)。

(5) 〈勉強会の実施〉一般社団法人ピースポート災害支援センター 理事長 上島 安裕 様

災害支援は災害時だけで連携を行うことは難しく、平時から顔の見える関係を構築する必要がある。そこで平時からの取り組みとして勉強会・意見交換会などの開催を予定。テーマは「災害時の食と栄養の話」の予定。特に避難所での対応が不十分であり、行政だけでは備えが十分ではない。今後は民間企業の力が注目されている。



▲2022年度 活動計画



【出席者のご意見(一部抜粋)】

- 自治体と民間団体では、取り組みの性質が異なると思うが、皆様との意見交換を通じて、自治体として出来ることを模索していきたい。
- 当社でもBCPIに関する勉強会をしていこうと思っている。生団連でBCPIに関する動画が今後作成されるのであれば、ぜひ共有いただきたい。
- 特に過疎地での災害時の支援ネットワークを構築していく必要がある。地域のお店と、問屋・卸売などが一体となって災害時対応が取れるとよい。防災への取り組みは加速させるべき。